第１回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成２９年４月１７日（火）　午後４時２０分～５時３０分

会場：青谷町総合支所　第２・３会議室

**【出席委員】**

髙橋克己、瀧　洋子、前田孝行、山本　剛、奥谷吉男、鈴木光頼、長谷川和郎、濵江和惠、松岡礼子、長谷川英二、上田洋子、大石剛史

以上１２名（敬称略）

**【事務局】**

山本支所長、清水副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、安達市民福祉課長、土橋産業建設課長、中島水道局西地域水道事務所長、松原地域振興課課長補佐

竹氏地域振興局次長、宮崎地域振興局協働推進課課長補佐

**【日 　程】**

１　**開　　会**

２　**支所長あいさつ**

３　**議 題**

1. 会長・副会長の選出
2. 平成２９年度地域振興会議スケジュールについて（資料ダウンロード）

3）鳥取市地域内情報伝達設備整備事業について（資料ダウンロード）

4）平成２９年度総合支所当初予算について（資料ダウンロード）

5）その他

４　**そ の 他**

５　**閉　 会**

**◎議事概要◎**

**1）会長・副会長の選出**

　　　会長　高橋克己氏　　副会長　瀧　洋子氏

**2）平成２９年度地域振興会議スケジュールについて**

特になし

**3）鳥取市地域内情報伝達設備整備事業について**

【事務局】今年度、鳥取市地域内情報伝達設備整備事業の制度ができたので、資料に基づいて具体的に説明。青谷地域では今年度から制度補助金の申請を受け付けます。なお、青谷地域のスケジュールですが、５月末までに各地区単位で区長への説明会を行います。その後、希望があれば町内会での説明会を開きます。

また、各町内会の意向を伺うアンケートを取ります。

【委員１】端末機の現物を説明会のときに持ってきてほしい。現物があると説得力があるので。

【事務局】ケーブルテレビ業者が現物を持ってきて使い方を説明します。

【委員２】システムに３つのタイプがあるが、現在の防災行政無線とつなげることはできるか。また、有線放送と無線放送は、エリアを拡大しての放送はできるか。

【事務局】（音声告知専用端末機器は）現在の防災行政無線とつなげることはシステム的には不可能ではないと聞いています。ですが、経費がすごく掛かることと、新設された防災行政無線は防災に関する情報に限定しており、一線を画すのでつなぐことは考えていません。

　２点目のエリアを拡大することはできますが、費用、そして無線では中継局といった設備がかかることになります。

【委員２】議題とははずれるが、日置谷地区まちづくり協議会役員会で、「防災無線が入らない地域がある。この地域内情報伝達設備は、それを補うためか。防災無線が聞き取りにくいところをなくしてほしい。聞きにくいところはどこなのか、調査をしたい」と自主防災会日置谷地区会長から話があった。入らないところがあるらしいということでは、済まされない。きっちり対応をしてほしいことを要望したい。

【事務局】危機管理課とも調整を図っており、聞こえないところがあるかどうか、個別に調査して対応を取ります。他の地域についてもそれぞれ対応を取ります。

防災無線は、緊急時の対応です。地域内情報伝達設備は、行政放送や地域の放送に対応するため整備するもので、役割が異なります。

【委員２】防災無線は、避難勧告など防災に特化した放送。それが聞こえないというのは許されない。そのうち対応しますでは、防災無線になってないということ。

【会長】なかなか難しい問題、今の問題は早急に善処してほしい。

【委員１】地域内情報の伝達方法として別個に区長文書配布もあるか。

【事務局】あります。

【委員３】現在、勝部地区各集落には、集落放送があるが、勝部全体は入らない。この三つの設備は、勝部地区全体で情報を共有するようなことはできるのか。

【事務局】三つのうち、地区ごとの放送や支所からの行政情報を流せるのは、音声告知放送のみです。行政情報の効果を上げるためには、支所としては、この加入率を上げることが重要と考えています。

【委員４】この三つ以外にはないのか。例えば、携帯電話のネットを利用したシステムとか。

【事務局】ケーブルテレビ２社のうち、ぴょんぴょんネットは、スマートフォンを使ったサービスを。ＮＣＮは、音声告知端末を使ったサービス、ですが、あくまでも民間事業者のサービスということです。

【会長】これはこれからかかる事業です。地域に非常に密着したもの。よろしくお願いします。

**4）平成２９年度総合支所当初予算について**

【委員５】№３３のいかり原太陽光発電施設の売電金額はいくらぐらいか。

【事務局】特別会計となっている売電収入は２７００万円、支出がこの維持管理費の４９０万円、残りは主に起債の償還です。

【委員６】これらの事業のうち、新規事業はどれか。

【事務局】№４、№５、№１１、№１６、№１７，№１８，№３８、以上です。

【委員６】２９年度のあおや地域関係の事業費は約５億５千万円だが、２８年度対比で予算の伸びはどうか。

【事務局】２８年度は約９億５千万円。そのうち中学校校舎改築費が４億円なので、差し引き５億５千万円となり、２８年度とほぼ同じです。。

【委員６】「平成２９年度主な事業一覧」のうち№８の「あおや和紙工房」と№９の「かちべ伝承館」の利用状況はどうか。大きな予算を計上しているが。

【事務局】施設に確認して報告します。ちなみに、№９にある農産物加工販売施設とは「青谷ようこそ館」のことで、この施設の指定管理料と合わせたものです。

【委員６】№１４漁港施設の維持管理とは、どんな内容か。

【事務局】夏泊漁港と長和瀬漁港の砂のしゅんせつなどが主です。

【委員６】勝部川の河口のしゅんせつ工事で、県との間で、確約書で水深は何メートルを確保しているか。市も心得ていると思うが、県の方に働きかけてほしい。

【事務局】水深は確認して報告します。

【委員６】№１６漁港施設機能保全事業計画の策定は具体的にどんな内容か。

【事務局】漁港の老朽化に対しての機能診断をする事業です。それにより機能保全計画を立て、悪いところは順次補修をしていきます。

【委員６】№37支所長経費は支所長の交際費的なものか。

【事務局】交際費的な部分もありますし、職員の出張旅費や支所長の名刺の印刷費などです。

【委員７】№８あおや和紙工房管理料は、１６００万円となっているが、以前は１３００万円ぐらいだったと思う。どうか。

【事務局】この１６００万円の中には、指定管理料と企画展示費３５０万円も含まれています。

【委員３】№２空き家調査の状況ですが、現在町内に空き家はどれぐらいあるか。まだまだ調査中なのか、終わったのか。

【事務局】調査は、全体的に1回は終わっています。今後も継続して調査していくと聞いています。具体的な数字は、次回の振興会議で報告します。だいたいのところは９件あります。

【委員６】今の№２空き家等調査は、調査は昨年のＮＰＯ法人が行っているのか。依頼があれば区長として調査への協力はするが、同じＮＰＯ法人であれば、個人情報もあるので、調査の方法を厳格にして、趣旨をしっかりと関係者に説明をして調査に当たってほしい。

【事務局】そのようにＮＰＯ法人に対し指導します。

**5）その他**

【会長】この会議の前に委員から、『支所だより』に、卓球やバレーの大会の紹介など体育行事に限らず載せてもいいのではと意見がありましたので、紹介しておきます。

また、この地域振興会議で、昨年から委員提案を出してもらっています。まちづくりやいい青谷にするための委員提案がありましたら、会長か支所の方に言っていただきたい。

　昨日、中学校の卓球県大会があり、青谷中は男女とも予選を通過して７月に広島大会に出場することになりました。

　また、マツモトキヨシの社長に４月１日付で青谷町出身者が就任されました。

【事務局】情報提供です。

青谷地域の出生数ですが、２７年度２３人まで落ち込んでいたが、２８年度は３６人でした。

　青谷高校の入学生数は、定員１１４人に対し２７年度４６人（青谷高校が廃止になるのではといううわさも影響してか）と落ち込んだが、このたび２８年度は８６人でした。青谷高校のことは今後取り上げさせてもらいたい。

【委員６】２８年度に生まれた子どもの数の報告があったが、合計特殊出生率についてはどうなのか。

【事務局】調べて回答します。